



平成21年10月29日

各位

会社名 日本興業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 森脇昭史  
 (JASDAQ・コード 5279)  
 問合せ先 執行役員総務部長 山口芳美  
 (TEL. 087-894-8130)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成21年8月7日に公表した連結業績予想および平成21年5月19日に公表した個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 連結業績予想数値

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,000	△320	△350	△280	△18.87
今回発表予想(B)	6,298	△127	△146	△122	△8.28
増減額(B-A)	298	192	203	157	
増減率(%)	5.0	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	6,829	△334	△353	△224	△14.77

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,500	300	260	200	13.48
今回発表予想(B)	15,500	350	300	250	16.97
増減額(B-A)	0	50	40	50	
増減率(%)	—	16.7	15.4	25.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	17,683	283	256	131	8.68

## 2. 個別業績予想数値

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,000	△280	△290	△200	△13.23
今回発表予想(B)	5,445	△140	△134	△104	△7.12
増減額(B-A)	445	139	155	95	
増減率(%)	8.9	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	5,720	△295	△294	△168	△11.07

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,500	250	230	150	10.18
今回発表予想(B)	13,500	300	260	190	12.90
増減額(B-A)	0	50	30	40	
増減率(%)	—	20.0	13.0	26.7	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	15,369	201	222	104	6.90

### 3. 修正の理由

#### (1) 連結業績修正の主な要因

主な要因は、下記個別業績修正の要因とほぼ同様であります。

#### (2) 個別業績修正の主な要因

第2四半期累計期間におきまして、売上高は効率的な営業活動を推進したこと、ならびに主力製品の売上が堅調に推移したことで、前回予想を若干上回る見込みとなりました。一方、原価の低減や販売費及び一般管理費の削減に努めたことで、営業損失は1億40百万円(前回予想より1億39百万円の改善)となる見込みとなりました。経常損失および四半期純損失につきましては、営業損失の改善が主な要因となり、経常損失1億34百万円(前回予想より1億55百万円の改善)、四半期純損失1億4百万円(同95百万円の改善)と、それぞれ前回予想を上回る見込みとなりました。

通期につきましては、引き続き厳しい経営環境が持続すると予想されますが、売上高は前回予想より変更ありません。なお、利益は引き続き採算重視の営業活動ならびに高付加価値製品の拡販を推進するとともに、全社的な経費削減を展開することにより、それぞれ前回予想より増益となる見込みであります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上